

山岳部 山頂の人工物までは街中の山でもハードな手稲山 (10月31日(日))

初冠雪の知らせが色々な山から届く中、今回手稲山に行ってきました。当初は平和の滝コースから北尾根への縦走、しかも電車やバスといった公共交通機関を利用しての山行を計画していましたが、日の短くなった今時期は無理をせず、平和の滝往復での実施となりました。まず、平和の滝前で記念写真。秋深まり、登山口から岩場までの登山道には黄色の落葉絨毯が敷き詰められていました。横の沢を眺めながら辿り着いた休憩所で水分補給し、布敷ノ滝へ向かいます。滝からは少しずつ岩伝いの登山道が続いていきます。眺めの良い岩場休憩所で暫し休憩をとります。ここでM先生の目元に在った大切な物が岩間に落ちてひと騒動。前回のK君の帽子に続き、回収不能だった一部に別れを告げました。核心部の岩場を経てさらに進み、たどり着いた山頂周辺はTVや電話会社のアンテナ群で埋め尽くされ、途中の野性的な登山道からは想像できない有様が広がっていました。これが大都市札幌市民の生活を支えている山の一面でもあるのです。山頂では道警山岳パトロールがティッシュとカイロを配布していました。有難うございます。山頂から札幌の街と周辺の山々を眺めて下山。帰りは札幌のスーパー銭湯でスッキリして、岩見沢へ戻りました。



平和の滝



休憩所



布敷ノ滝



手稲山山頂



山頂から見える札幌の街



岩場を慎重に下ります



落葉が徐々に濃くなります